

三次の 史跡



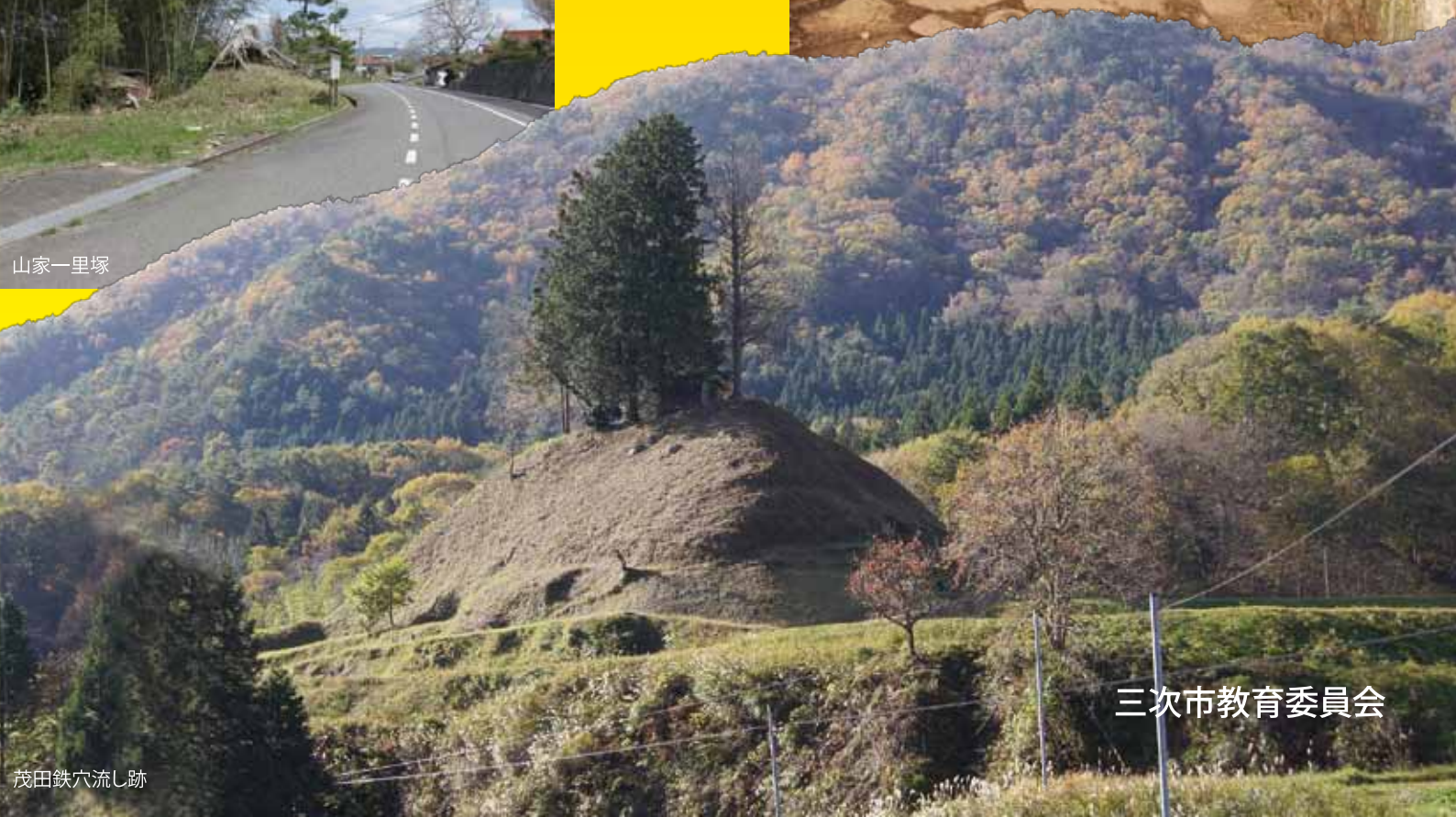
高杉城跡



鏡ヶ宿古墳



山家一里塚



茂田鉄穴流し跡

史跡とは

三次市に人が暮らし始めたのはいつごろからか知っていますか？

実は、1万5000年以上前の人の活動の痕跡が残っています。今、私たちが暮らすこの三次では、どんな人が、どんな暮らしをしていたのでしょうか。それを知る手がかりが「遺跡」であり、「史跡」です。

「遺跡」とは人々が残した活動の痕跡のことで、長い年月の中で次第に地中に埋もれ残されています。それを発掘などによって調査し、どんな痕跡か調べていきます。「遺跡」の中で特に歴史上又は学術上価値の高いものを国、県、市町村が指定すると「史跡」と呼びます。国が指定した史跡の中で特に価値が高いものを「特別史跡」と呼びます。

現在、国の指定を受けている史跡は全国に1,805件あり、特別史跡は62件あります。広島県には国指定の史跡が25件、特別史跡が2件あります。その内、三次市には史跡が5件（花園遺跡、矢谷古墳、陣山墳墓群、浄楽寺・七ツ塚古墳群、寺町麩寺跡）あります。また、広島県が指定したものが14件、三次市が指定したものが27件があります。（平成30年4月現在）
 それでは、三次市にはどんな種類の、いつの時代の史跡があるか、学んでいきましょう。

知豆 発掘調査ってなんだろ？

昔の人の家のあとは土の中に埋まっているのに、
 どうしてこんな形とわかるのでしょうか？



日本にはどんな史跡があるのか

「史跡」はその特徴によって、9つに分類されています。種類と代表的な史跡を紹介します。

1. 貝塚、集落跡、古墳 その他この類の遺跡

例: 三内丸山遺跡(青森県)、吉野ヶ里遺跡(佐賀県)、
 加曽利貝塚(千葉県)、三ツ城古墳(広島県東広島市)



吉野ヶ里遺跡(佐賀県)

2. 都城跡、国郡庁跡、官公庁、戦跡 その他政治に関する遺跡

例: 平城宮跡(奈良県)、江戸城跡(東京都)、広島城跡
 (広島県広島市)、原爆ドーム(旧広島県産業奨励館)
 (広島県広島市)



原爆ドーム(旧広島県産業奨励館)(広島県広島市)

3. 社寺の跡又は旧境内 その他祭祀信仰に関する遺跡

例: 興福寺旧境内(奈良県)、富士山(山梨県、静岡県)、
 安芸国分寺跡(広島県東広島市)、厳島(広島県廿日市市)



厳島(広島県廿日市市)

4. 学校、研究施設、文化施設 その他教育・学術・文化に関する遺跡

例: 松下村塾(山口県)、小石川植物園(御薬園跡及び
 養生所跡)(東京都)、廉塾ならびに菅茶山旧宅
 (広島県福山市)



廉塾ならびに菅茶山旧宅(広島県福山市)

5. 医療・福祉施設、生活関連施設 その他社会・生活に関する遺跡

例: 笠神の文字岩(岡山県)、野谷石風呂(山口県)

6. 交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設 その他経済・生産活動に関する遺跡

例: 萩往還(山口県)、草津宿本陣(滋賀県)、高島炭鉱跡端島炭坑跡(長崎県)、
 旧富岡製糸場(群馬県)

7. 墳墓及び碑

例: 平田篤胤墓(秋田県)、萩藩主毛利家墓所(山口県)、浅野長矩および赤穂義士墓(東京都)

8. 旧宅、園池 その他特に由緒のある地域の類

例: 平等院庭園(京都府)、頼山陽居室(広島県広島市)、伊藤博文居室(山口県)、
 福沢諭吉旧居(大分県)

9. 外国及び外国人に関する遺跡

例: 小泉八雲旧居(島根県)、シーボルト宅跡(長崎県)、出島和蘭商館跡(長崎県)

三次市の史跡とその時代

三次市には国、県、市が指定した史跡が46件あります。どんな種類で、いつ頃のものがみましょう。

日本の国の成り立ち

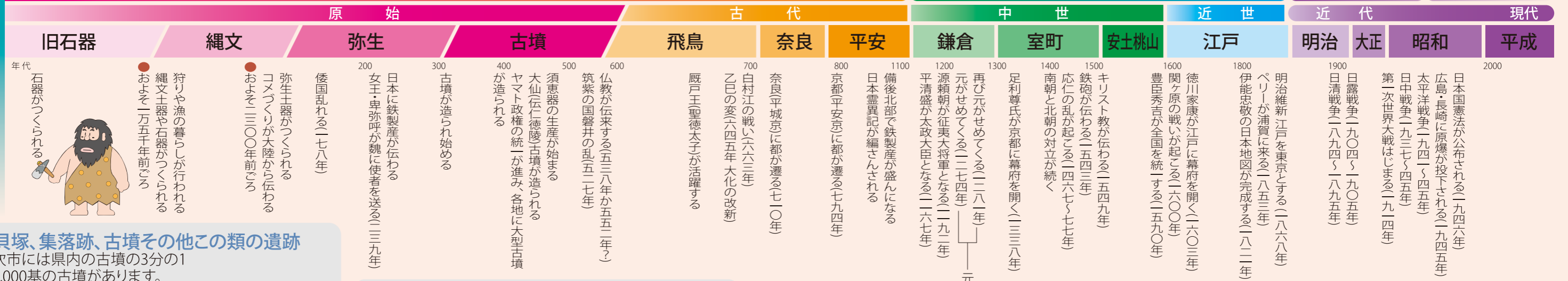
貴族の世の中

武士の世の中

明治からの世の中

戦後の新しい時代

時代



1. 貝塚、集落跡、古墳その他この類の遺跡

三次市には県内の古墳の3分の1
約4,000基の古墳があります。

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
1	花園遺跡	十日市	弥生	国
2	矢谷古墳	東酒屋町	弥生	国
3	陣山墳墓群	四拾貫町・向江田町	弥生	国
4	岩脇古墳	粟屋町	古墳	県
5	若宮古墳	十日市	古墳	県
6	三玉大塚古墳	吉舎町	古墳	県
7	酒屋高塚古墳	西酒屋町	古墳	県
8	糸井大塚古墳 (糸井塚の本第一号古墳)	糸井町	古墳	県
9	八幡山第1号古墳	吉舎町	古墳	市
10	浄楽寺・七ツ塚古墳群	高杉町・小田幸町 大田幸町・江田川之内町	古墳	国
11	弘法山大山古墳群	甲奴町	古墳	市
12	団子原古墳群	君田町	古墳	市
13	長者原古墳	君田町	古墳	市
14	鏡ヶ宿古墳	布野町	古墳	市
15	川平古墳	布野町	古墳	市
16	大畠古墳1号	作木町	古墳	市
17	日光寺住居跡	十日市	古墳	県



花園遺跡(十日市)



弘法山古墳群(甲奴町)

3. 社寺の跡又は旧境内 その他祭祀信仰に関する遺跡

地方では早い時期に造られ、『日本霊異記』に
その由来が記されている寺町廃寺跡をはじめ、
寺院跡が残っています。

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
29	寺町廃寺跡	向江田町・和知町	古代	国
30	西方寺跡	三和町	古代	市
31	吉寺廃寺跡	吉舎町	中世	県



寺町廃寺跡(向江田町・和知町)



西方寺跡(三和町)

2. 都城跡、国郡庁跡、官公庁、戦跡、 その他政治に関する遺跡

中世、領地境だったため、山城が多く残っています。

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
18	下本谷遺跡(三次郡衙跡)	西酒屋町	古代	県
19	国光城址	三和町	中世	市
20	高八山城址	三和町	中世	市
21	高杉城跡	高杉町	中世	県
22	福原城跡	作木町	中世	市
23	本亀城跡	君田町	中世	市
24	道迫山城跡	君田町	中世	市
25	三熊山城跡	君田町	中世	市
26	能山城跡	君田町	中世	市
27	南天山城跡	吉舎町	中世	市
28	鹿岩	三和町	近代	市



鹿岩(三和町)



南天山城跡(吉舎町)

5. 医療・福祉施設、生活関連施設 その他社会・生活に関する遺跡

飢饉や水害などに備えるため、
様々な対策が行われました。

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
32	三次社倉	三次町	近世	県
33	助轟	三和町	近世	市

6. 交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設 その他経済・生産活動に関する遺跡

古代から近代まで、備後北部地域は鉄生産が盛んでした。
また、いくつもの街道が交差する交通の要衝であったこと
から、街道に関する遺跡も多く残っています。

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
34	窯跡	甲奴町	古代	市
35	白ヶ迫製鉄遺跡2号炉	三良坂町	古代	市
36	下素麵屋一里塚	吉舎町	近世	県
37	中山一里塚	吉舎町	近世	県
38	下津河内丸山鉄穴跡	粟屋町	近世	市
39	秋町一里塚	秋町	近世	市
40	山家一里塚	山家町	近世	県
41	尾崎山の堀切 附観音日正大師墓	吉舎町	近世	市
42	岩敷タラ址	君田町	近世	市
43	茂田鉄穴流し址	君田町	近世	市



山家一里塚(山家町)



下素麵屋一里塚(吉舎町)



助轟(三和町)

4と9に分類
されるものは
三次市には
ありません



7. 墳墓及び碑

この地域の領主の
お墓などが残っています。



敷地一本堂(吉舎町)

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
44	敷地一本堂 附伝尼子貞久宝篋印塔	吉舎町	中世	市
45	和智誠春宝篋印塔	吉舎町	中世	市

8. 旧宅、園池その他特に 由緒のある地域の類

三次や備後北部を統治
する際の拠点の場所でも
あり、奉行などの居宅
がありました。



頼杏坪役宅(三次町)

番号	名称	所在地	時代区分	指定別
46	頼杏坪役宅(運覽居)	三次町	近世	県

三次市の特徴的な史跡

三次市の歴史を知る上で特徴的な場所を紹介します。

古墳時代の生活

日光寺住居跡

広島県史跡
指定年月日/昭和32(1957)年9月30日 所在地/三次市十日市

住居は1辺が約4～4.5mの方形で、地面を約40cm掘り下げて、4本柱の建物が建っていました。3軒のうち、2軒にはカマドがありました。見つかった遺物から六世紀末頃(古墳時代後期)の集落跡と考えられています。



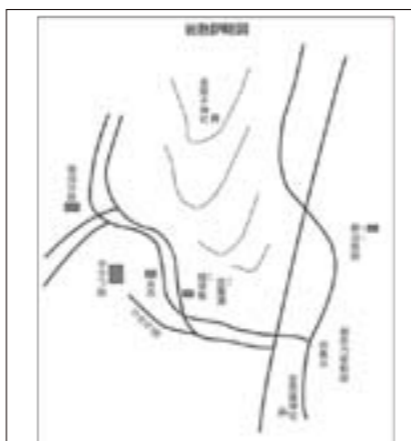
日光寺住居跡



下津河内丸山鉄穴跡



茂田 かなやご神社



岩敷タタラ概略図

三次市の製鉄関係遺跡

下津河内丸山鉄穴跡

三次市史跡
指定年月日/昭和34(1959)年12月1日 所在地/三次市粟屋町

高谷山の北側にある棚田地帯に残っている近世から近代の砂鉄採取遺跡です。

「鉄穴」とは砂鉄を採取する施設の総称です。特に砂鉄を選別する「池場」が残っているのはここだけです。

高谷山は良質な砂鉄が産出することで有名でした。ここの鉄は、鉄を解けやすくする性質があり、鉄生産に必要な材料でした。

茂田鉄穴流し跡

三次市史跡
指定年月日/平成2(1990)年3月1日 所在地/三次市君田町

茂田地区では正徳2(1820)年ころから鉄穴流し(砂鉄採取)が本格化したと考えられています。長年、砂鉄を採取し続けた結果、かたい部分だけ残された鉄穴残丘と呼ばれる独特の地形が残されています。

岩敷タタラ跡

三次市史跡
指定年月日/平成2(1990)年3月1日 所在地/三次市君田町

岩敷タタラは明治32(1899)年まで操業されていた君田町最後のタタラです。大規模な施設で、7日間夜も昼も休むことなく鞆で空気を送り続けて砂鉄を木炭でとがして、鉄を生産しました。

- タタラ 砂鉄をとかす炉や建物の「高殿」
- 金池 とけた鉄を冷す池
- 御用所 山内の事務所
- 鋤屋敷 鉄をくわいて大鍛冶屋に送る準備をするところ

古代の政治の中心地

下本谷遺跡(三次郡衙跡)

広島県史跡
指定年月日/昭和56(1981)年11月6日 所在地/三次市西酒屋町

奈良時代から平安時代にかけての古代三次郡(現在の三次市のほぼ西半分)の郡役所跡です。

東西約53m、南北113mにわたって柵を巡らし柵内の中央部に郡司が政務を執る「庁屋」や生活の場である「向屋」の建物があったほか、柵の内外から多数の倉庫群も発見されました。文字を書いていたことを示す硯(円面硯)や当時の貴重品である緑釉陶器などが出土しています。

近くからは、旧石器時代の遺跡も見つかっています。



下本谷遺跡航空写真(北東より)(中国放送提供)

江戸時代の政治の中心地

頼杏坪役宅

広島県史跡
指定年月日/昭和12(1937)年5月28日 所在地/三次市三次町

頼杏坪が三次町奉公をしていた文政11(1828)年から同13年にかけて住んでいた家です。彼は「治にあつて乱を忘れない(平和な時でも備えを忘れない)」という中国の故事にならって、この建物を「運甓居」と名付けていました。

頼杏坪は、竹原市の商家に(1756年)生まれ、儒学を学び、広島藩に仕えました。50歳を過ぎたころから郡代官や郡廻りなどになり、備北地域の4郡(三次・恵蘇・三上・奴可)の人々の生活を安定させることを政治の目的としました。



頼杏坪役宅



頼杏坪肖像画

三次社倉

広島県史跡
指定年月日/昭和12(1937)年5月28日 所在地/三次市三次町

江戸時代には凶作のたびに飢饉が occurred。広島藩は儒学者の意見を取り入れて明和7(1770)年に社倉制度を実施しました。社倉は飢饉に備えて米や麦を蓄える制度です。市街地に社倉が残るのは珍しいことです。昭和12(1937)年に指定された時は、頼杏坪が建てたとされる建物も残っていましたが、火災により焼失し、昭和61年に現在の姿に復元しました。



三次社倉

豆知識のクイズの答え合わせ

- 1 はけ
- 2 巻尺(メジャー)
- 3 スコップ
- 4 竹べら
- 5 移植ごて
- 6 おたま
- 7 草ケズリ
- 8 てみ(いしみ)

三次市史跡マップ

1 貝塚、集落跡、古墳 その他の類の遺跡

- 1 花園遺跡 (はなぞのいせき)
- 2 矢谷古墳 (やたにこふん)
- 3 陣山墳墓群 (じんやまふんぼぐん)
- 4 岩脇古墳 (いわわきこふん)
- 5 若宮古墳 (わかみやこふん)
- 6 三玉大塚古墳 (みつたまおほづかこふん)
- 7 酒屋高塚古墳 (しやけやかつかこふん)
- 8 糸井大塚古墳 (いとせいのおほづかこふん)
- 9 八幡山第1号古墳 (はちまんさんだいごうこふん)
- 10 浄楽寺・七ツ塚古墳群 (じやうらくじ・ななつづかこふんぐん)
- 11 弘法山大山古墳群 (こうぼうさんおほやまこふんぐん)
- 12 回子原古墳群 (かひこはらこふんぐん)
- 13 長者原古墳 (ちやうぢや原こふん)
- 14 鏡ヶ宿古墳 (かがみよしこふん)
- 15 川平古墳 (かわひらこふん)
- 16 大畠古墳1号 (おほはたこふんいちごう)
- 17 日光寺住居跡 (にっこうじやうきやうまゐりあと)

2 都城跡、国郡庁跡、官公庁、戦跡、 その他政治に関する遺跡

- 18 下本谷遺跡 (三次郡衙跡) (しもほんたにいせき (みよしぐんあやあと))
- 19 国光城址 (くにみつじやうぢ)
- 20 高八山城址 (たかやちやまじやうぢ)
- 21 高杉城跡 (たかすぎじやうぢ)
- 22 福原城跡 (ふくはらじやうぢ)
- 23 本亀城跡 (ほんかめじやうぢ)
- 24 道追山城址 (みちおひやまじやうぢ)
- 25 三熊山城址 (みつくまじやうぢ)
- 26 熊山城址 (くまじやうぢ)
- 27 南天山城跡 (なんでんざんじやうぢ)
- 28 鹿若 (しかわか)

3 社寺の跡又は旧境内 その他祭祀信仰に関する遺跡

- 29 寺町廃寺跡 (てらまちはいせき)
- 30 西方寺跡 (さいほうじあつ)
- 31 吉寺廃寺跡 (よしでらはいせき)

5 医療・福祉施設、生活関連施設 その他社会・生活に関する遺跡

- 32 三次社会 (みよししやせう)
- 33 助産 (たすけごらう)

6 交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設 その他経済・生産活動に関する遺跡

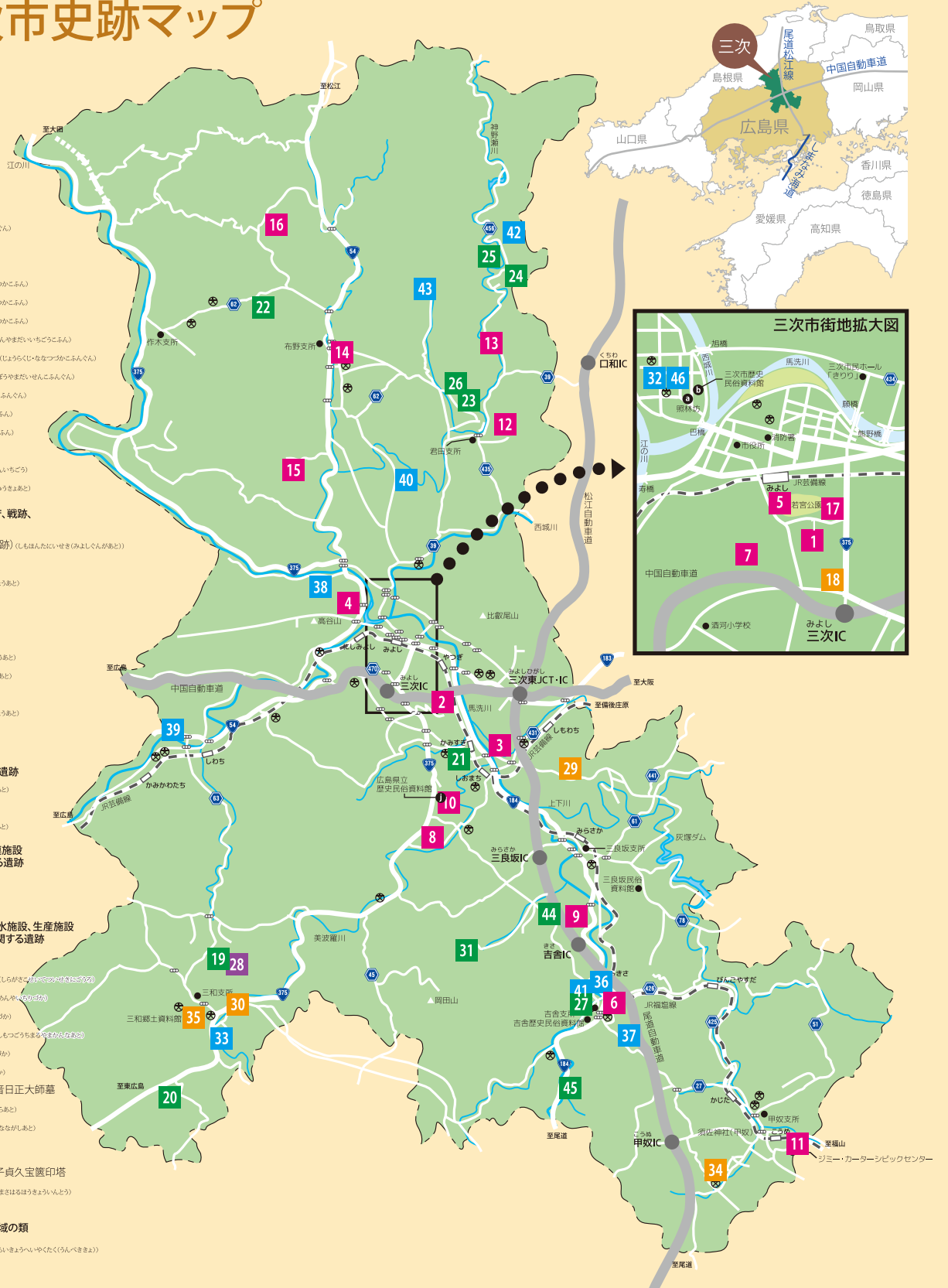
- 34 窯跡 (かまあと)
- 35 白ヶ追製鉄遺跡2号炉 (しろがきおひていせついせきだごうろ)
- 36 下条一里塚 (しもせういちりづか)
- 37 中山一里塚 (なかつやまいちりづか)
- 38 下津河内丸山鉄穴跡 (しもつづかみづまわらむらじやうあなあと)
- 39 秋町一里塚 (あきまちいちりづか)
- 40 山家一里塚 (やまがいちりづか)
- 41 尾崎山の堀切 附観音日正大師墓 (おしざきやまのほりきり つけくわんにっしやうおほしらす)
- 42 岩敷タタラ址 (いわしきたたらあつ)
- 43 茂田鉄穴流し址 (もたかんでらあなながしあつ)

7 墳墓及び碑

- 44 救地一本堂 附伝尼子貞久宝篋印塔 (きうぢいっぽんどう つけでんにせごんきうほうせきいんとう)
- 45 和智誠春宝篋印塔 (わちまさはるほうせきいんとう)

8 旧宅、園池 その他特に由緒のある地域の類

- 46 顔杏坪役宅 (運甕居) (かみいさひらへいやくたく(うんばきまゐり))



発行年月日 平成31(2019)年3月

編集・発行 三次市教育委員会

資料提供 広島県教育事業団埋蔵文化財調査室

〒728 - 8501
広島県三次市十日市中二丁目8番1号
TEL:0824-62-6191

印刷 三星舎印刷有限公司